



活動紹介



バーベキュー大会&夏祭り

平成30年度も半年が過ぎました。しいのみ園の4大行事のうち、バーベキュー大会と夏祭りが無事、盛大に開催できました。ご協力いただいた保護者会、近隣自治会、ボランティアの皆様、ありがとうございました。各行事では利用者の皆さんの笑顔があふれていた様に思います。今後もまだまだたくさんの行事が控えていますので、どうぞご期待ください。



6月29日に「こころの誉」の地鎮祭を無事にとり行うことができました。

しいのみ園では、これまでそれぞれ特性を持たせた3つの生活介護事業所を展開してきました。来年度開所を予定しています「こころの誉」は、お年寄りや身体的な障害を持った方々の機能訓練重視の事業所にしようと計画しています。そして、今後は、私たちの施設を利用してくださる方々も高齢化しており、そうした方々にも安心して利用して頂けるような「特別養護老人ホーム」を計画しています。



広報委員会も5年後のメッセージを考えてみました!!

①5年後の自分へのメッセージ ②その理由や思いなど



宇留間 俊行
障害者支援施設 しいのみ園 林産班

①「夢に向かって進んで行こう。」
②平和な世界。すまい街作り。共生社会の実現。その先の未来に向かって、夢に向かって進んで行こう。



岩崎 明日美
障害者支援施設 しいのみ園 生活班

①「頑張ってる」
②辛いだろうけど無理はせずとか、身体を壊さないようにとか、毎日楽しく過ごせるようにとか、色々な伝えたいことを表す言葉はなんだろうと思って「頑張ってる」にしました。



進藤 晴香
障害者支援施設 しいのみ園 林産班

①「新しい事にチャレンジしよう」
②福祉に関わる事、関係ない事、何でもいので5年後も新しいことを学ぶ意欲と好奇心があり続けますように。そう願っています。

編集／広報委員会

平成26年から発刊された「ふくろう通信」が皆さまのご協力のおかげで第10号を迎えることができました。これからも利用者様の笑顔をたくさん届けていけるように頑張ります。どうぞお楽しみに！

法人の基本理念 親亡き後の子供たちのため、国際社会、地域社会で人間らしく、安心・安全・共生できる心豊かな施設づくり。



特集

創設20周年に向けて “しいのみ園の未来、理事長のビジョンに迫る”

社会福祉法人 心友会 しいのみ園グループ発行「ふくろう通信」が第10号という節目を迎えました。平成15年4月1日に知的障害者更生施設として定員50名、短期入所6名から始まった当法人は、現在8事業所となり、来年度新たに生活介護事業所「こころの誉」の開所も控えています。創設20周年に向けて、今の法人のこと、これからの法人のこと、そして武田理事長の人となりについて若手職員が迫りました。

心友会は、日本福祉施設士会に入会。「福祉QC」活動をスタートし「福祉サービスの質の向上」に取り組んでいます。

いろいろなご両親の 思いを受け継いで。

小野活動班長(以下、小野)

本日は貴重な時間をいただきありがとうございます。2022年には創設20周年を迎えるわけですが、これまでに利用者様との心に残るエピソードはありますか？

武田理事長(以下、理事長)

ちょっと質問の答えにはならないかもしれませんが、昭和60年代、親の認知症発症により介護が必要になり、また、姪が知的障害児で、受け入れてくれる施設を探す中、当時の「上から目線」対応や、閉鎖的な障害者施設に対して非常に幻滅したという経験をしました。利用者様の支援実態は、今と昔では雲泥の差があったと思うのです。閉鎖的な施設を開かれた施設にしなければならない。高齢者や障害児者が安心安全に暮らせる社会にしたい。いろいろなご両親の思いを受け継いで、利用者様やご家族に心から喜んで頂ける施設を作りたいと思い、行ったのです。

一人で頑張りすぎず、抱え込まず、 みんなで話し合える環境を。

リアン支援員(以下リアン)

社会福祉の現場は感情労働といわれていますが、現場職員への心構えがあれば、お聞かせください。

理事長

福祉の現場は社会福祉の原点です。知的障害のある方々が、人間らしい幸せな生活を送るこ



とができるように支えることが、私たちの仕事の基本なのです。しかし、常に緊張感を持って仕事をすると言き詰まるわけです。そして人間は、失敗をする生き物なのです。失敗はあって当然だと思います。しかしその失敗から学んでほしいのです。なぜ？どうして？常に疑問を持って改善に取り組んでほしいと思っています。一人で頑張りすぎず、抱え込まず、みんなで話し合える環境にしてほしいですね。難しい事ですが、気持ちの中に少しだけ余裕を持って仕事に取り組む事も必要かもしれません。

また、自分一人の職場ではありません。「相手が何を思い、何を感じているのか」その辺をよく考えながら行動していくといいのではないのでしょうか。心身のバランスを保つ技術や、社会人としてのマナーを身につける事も大切です。

小野

余裕を持って仕事に取り組むためには、プライベートが重要かもしれません。しかし、仕事とプライベートのバランスをとる事は、難しいとも思うのですが。

理事長

もちろん当然の考えだと思います。来年度になりますが、労働改革といいますか、週休3日制ということも考えています。今は、1日8時間労働ですが、それを1日10時間労働にして、週4日で40時間の勤務にして週3日は休日にするわけです。ただし、役職者は別です。あくまでも現場の支援に関わる職員が対象です。そうすることによって集中して働き、充実した休日にも楽しめるのではないのでしょうか。3日間休みがあるという、魅力的じゃないですか。

小野

はい、私もそう思います。3日間、何をしようか考えるだけで楽しくなります(笑)。オンとオフの切り替えは大切ですからね。

社会への貢献とは、 国際社会、世界への貢献でもある

小野

これからの社会福祉法人の役割と新たな福祉課題への取り組みについてうかがいたいのですが。

理事長

平成12年以降、介護保険や障害者自立支援法(現:障害者総合支援法)ができ、福祉サービスの主体は自治体や社会福祉法人だけでなく、営利企業やNPO等がどんどん参入してくる時代になりました。それにより、社会福祉法人は大きな転換期を迎えたわけです。今までであれば、法人内で障害者を支援していることだけで十分公共性、公益性が高い仕事と認められ、税金面も非課税が認められてきました。一方で営利企業であれば利益が出れば課税され税金を納め、それを社会に還元するわけです。なぜ、社会福祉法人が非課税であるかという最大の理由は「税金以上の社会的価値を生み出し社会に貢献すること」という期待からそうなっていると考えています。

社会への貢献とは、国内はもとより世界への貢献だと考えております。そのひとつがEPA※(経済連携協定によるフィリピンからの介護福祉士候補生)であり、また、韓国の瑞江学園大学との就労連携型グローバル現場実習協約書に



インタビュー紹介

- ①名前
- ②入職年数
- ③配属先
- ④4年後の自分へのメッセージ
- ⑤その理由や思いなど

- ①小野 美沙稀
- ②3年目
- ③しいのみ園こころ 就労継続支援B型
- ④「初心忘るべからず」
- ⑤社会人7年目になるという事もあり、考え方や価値観も変わってきているのかなと思います。ですが、いつも相手の気持ちに寄り添い、利用者の為に頑張ろうという気持ちは忘れないでください。



- ①バカバク マリア リアン
- ②3年目
- ③障害者支援施設 しいのみ園 室内活動班
- ④「笑顔で頑張って明日に向かっていこう!!!」
- ⑤プライベートでも仕事でもいつも大変な時がありますがその苦しさでいいことがあるはず。夢は一人で叶えるのではなく、大切な人達と助け合いながら頑張るって叶う。最後、この世の中の大変さで一番簡単にできることは、笑顔です。笑顔で人と関わって、笑顔で仕事をして、笑顔で明日を向かうことができる。自分の笑顔は他の人の力になっているよ!!!

基づく、卒業生のインターンシップの受け入れなのです。

また、一昨年から公益事業の一環として、外房線の嘗田駅南口に地域包括支援事業「しいのみ園福祉のまちづくり支援室(ふくろう屋2号店)」を開設しました。ここでは子育て支援や引きこもりがちなお子様や保護者の方、高齢の方等の居場所として活用して頂いています。又、陶芸教室や手芸教室などもボランティアで定期的開催し、地域の皆様の交流の場となっているのではないのでしょうか。また、嘗田地域にも外国の方もたくさんいらっしゃるのです。その方たちを中心にボランティアで「子ども食堂」や「語学教室」も計画しています。地域の皆様に気軽に立ち寄って頂ける、そんな場所にしていきたいですね。今後も、このような居場所をさらに増やしていくための活動をしてまいりますので、どうぞご期待ください。

お年寄りや身体的な障害を 持った方々の機能訓練重視の 事業所「こころの営」

リアン

来年度新たに生活介護事業所「こころの営」がオープンしますが、詳しく教えてください。

理事長

現在は、しいのみ園 障害者支援施設(入所)、生活介護事業所(こころ)、(こころの都)という3つの生活介護事業所があります。入所は



林産と園芸そして室内活動班と、それぞれの活動に適した方々の居住の場所づくり。こころの都は、最重度の障害をお持ちの方々というように、それぞれ特性を持たせた事業所を展開してきたわけですが、来年度開所を予定している「こころの営」は、お年寄りや身体的な障害を持った方々の機能訓練重視の事業所にと計画しています。そして、今後は、私たちの施設を利用してくださる方々も高齢化に向かっており、そうした方々も含め心友会は「特別養護老人ホーム」を、5年以降を目標に考えております。

今「囲碁」に一番興味があるのです。

小野

少し話を変えてプライベートについてお伺いしたいのですが、休日はどのような過ごし方をされていますか？

理事長

趣味は、若いころから山登り、海釣りに川釣り、ゴルフと多趣味で、仕事の中で余暇を楽しむと言いますか、一年365日、仕事の中に楽しみを見出すこと、そんなところでしょうか。失敗の中に成功があるわけですが、どんな事にも改善点を見つけより良い方向に導いていく、そのプロセスだって楽しみのひとつになるわけです。そうそう、時間と相手がいれば楽しみのひとつである囲碁をやってみたいと思っています。囲碁の石は、ただの石ですが、意志は石なりといって、その一手一手で生きるか死ぬかという真剣勝負です。そんなところに魅力を感じるのです。

信念を貫き通す、自分なりの頑固さがチャームポイント。

リアン

ご自身でチャームポイントだと思われるところはありますか？

理事長

「わが道を行く。」そんなところが、私にはあるのです。今でこそ、だいぶ、皆さんの言うことを聴くようになってきたのですが(一同、笑)、私自身は「自分の信念を貫き通す。」Going my wayとはちょっと違うのですが、そんな頑固さがポイントといえばポイントのひとつになっているんじゃないでしょうかね。

皆が一丸となって、どれだけ目標を達成できるか

リアン

創設20周年に向けて、理事長ご自身のお気持ちを教えてください。

理事長

20年を迎えようと全く気持ちは変わりませんけどね(一同、笑)。まあ、20年というのは、当然に節目なるわけです。それに向かって皆が一丸となって、どれだけ目標を達成できるかということでしょうか。そして先ほど言いましたが、皆が、世界の地域で、またその人たちと明るく楽しく過ごすことができるか。具体的には来年度になりますが、職員、利用者、そして保護者の皆様と一緒に海外研修旅行に行きたいと考えています。リアンさんはビサヤスでしたね。



リアン

はい、そうです。

理事長

リアンさんのプレッシャーになるかもしれませんが、目標を持ち障害者と共に、皆でミンダナオにツアーを組んで行きたいと思っているのです。ミンダナオは英語圏です。現地の人々と触れ合い大切に、福祉について大いに語ろうじゃないですか。

小野

それまでに英語を勉強しておきます(笑)。

日本人としてではなくて、地球人として目標を！

リアン

最後に、新たに福祉の世界に入ろうとする学生に対してメッセージをお願いいたします。

理事長

福祉とは、幸せを追求し共に楽しく、共に生きることです。また、福祉の3Kは、感謝、感動、希望と言われております。福祉の世界に入ろうとする学生たちには、幸せを求め、福祉の3Kを考えながら、短期、中期、長期の目標を立て、大きな視野を持ち、世界、地球上の国々の人たちと語り、障害のハンディキャップを学び、そのうえで、目標を持ってもらいたい。どんなことでも前に進んでチャレンジしてもらいたい。日本人としてではなくて、地球人として目標を！(しいのみ園の)玄関先の壁に飾ってある「幸せを呼ぶ宇宙ふくろう」の絵をご存じですね。あれは、私の夢を謳って描いて頂いたものなのです。地球の全ての人たちが安心・安全に、みんな

で楽しく暮らせる地球を作って欲しいという私の願いを込めてあります。とにかく、大きな夢、世界の人々と共に福祉を語ろうという気持ちを持ってほしいですね。そうならないと言葉通じないと語れないですね(笑)。

小野

やはり語学が大事ですね(笑)。

理事長

そうですね(笑)。でも、片言でも体当たりしていけば道は拓かれると思います。ぜひ、若い人たちはチャレンジしてもらいたいですね。世界に羽ばたいてください。地球の福祉として、地球的な視野を持ちみんなで手を繋いでいこうと千葉県千葉市緑区から発信したいと思っています。

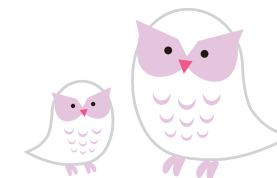
「福祉の世界」「国境のない」、「地球の福祉」として！ みんなで楽しみ、チャレンジしに行きましょう！海外に！(一同、笑)。

リアン

ぜひ行きましょう！

小野

とても楽しみです！本日は貴重な時間をいただきありがとうございました。



※「経済連携協定」(EPA:Economic Partnership Agreement)は、WTO(世界貿易機関)と中心とした 多国間の貿易自由化を補完するため、国や地域を限定して、関税等の貿易障壁を撤廃することにより、モノ・ヒト・カネ・サービスの移動を促進させようとするもの。一般的には、「自由貿易協定」(FTA:Free Trade Agreement)の呼称が使用されているが、日本においては、いわゆる自由貿易協定(物品やサービスの貿易障壁の削減・撤廃を目的とする)の要素に加え、投資、人の移動、知的財産保護、協力等の広範な分野を対象としていることから、協定の名称は「経済連携協定」(EPA)を用いている。 厚生労働省HPより引用



■元理事：入江是清画伯作

5年後の自分へのメッセージ!!

- ①5年後の自分へのメッセージ
- ②その理由や思いなど



高山 嶺

障害者支援施設 しいのみ園 サービス管理責任者

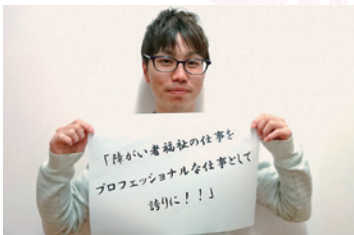
- ①「知的障害福祉の新しい可能性の扉を開いていく!!」
- ②知的障害の方への支援は今も発展途上にあると思います。心友会の職員がプロフェッショナルになるよう、知識を高め、実行できるような施設作りを行っていくことが自分の使命であると思っています。



田口 路華

障害者支援施設 しいのみ園 副サービス管理責任者

- ①「チャレンジ精神を忘れずに」
- ②「でも」「だって」を一言めに、新しいことへの挑戦を避けるようになってきているため、働き始めた時を思い出し、「～たら、～れば」と後悔することがない人生でありたい、という希望を持って。



大貫 純平

障害者支援施設 しいのみ園 副サービス管理責任者

- ①「障がい者福祉の仕事はプロフェッショナルな仕事として誇りに!!」
- ②誰でもできる仕事と思われている世間の見方を変えていきたい。その為にも支援技術を向上させていきたい。



真砂 杏子

障害者支援施設 しいのみ園 園芸班

- ①「初心を忘れずコツコツと」
- ②入社したての頃の嬉しかったこと、失敗したこと等、沢山の想いや経験を忘れずに、日々の仕事に一生懸命取り組んでいきたいです！



黒澤 優真

障害者支援施設 しいのみ園 林産班

- ①「頑張れ自分」
- ②私がこれを5年後の自分へ送る理由は、5年後に自分が頑張っている自信が無いからです。今の自分にも言い聞かせたい言葉ですね。

